



2018年4月27日

各 位

会 社 名 住友精密工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田岡良夫  
(コード番号 6355 東証一部)  
問合せ先 管理部長 石丸正吾  
(T E L 06-6489-5816)

## 業績予想との差異に関するお知らせ

2017年4月28日に公表の2018年3月期の通期業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 2018年3月期通期業績予想値と実績値との差異

#### (1) 2018年3月期通期連結業績 (2017年4月1日～2018年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 48,000	百万円 850	百万円 550	百万円 200	円 錢 3.78
実 績 (B)	47,241	2,034	2,048	501	9.47
増減額 (B-A)	△ 759	1,184	1,498	301	
増減率 (%)	△ 1.6%	139.3%	272.4%	150.6%	
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	48,096	730	81	△ 1,488	△ 28.12

#### (2) 2018年3月期通期個別業績 (2017年4月1日～2018年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 38,500	百万円 750	百万円 600	百万円 400	円 錢 7.56
実 績 (B)	35,376	173	366	△ 1,105	△ 20.90
増減額 (B-A)	△ 3,124	△ 577	△ 234	△ 1,505	
増減率 (%)	△ 8.1%	△ 76.9%	△ 39.0%	—	
(ご参考)前期実績 (2017年3月期)	38,169	562	315	△ 3,357	△ 63.44

### (3) 差異の理由

#### (連結業績の差異)

売上高は、マイクロマシニング用プラズマプロセス装置の受注販売が増加したものの、熱交換器の関連市場における投資水準の回復が遅れていること等により、前回予想を下回りました。

一方、営業利益につきましては、販売減少の影響を受けつつも、I C T 関連事業における装置販売価格の改善や仕様の最適化等によるコスト低減に加え、経費の削減や開発費の翌年度へのずれ込み等により、前回予想を上回りました。

また、経常利益につきましては、営業利益の改善に加え、持分法適用会社であるSilicon Sensing Systems Ltd. の各種センサの販売増加に伴う持分法による投資利益の好転等もあり、前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失を計上いたしましたが、営業利益および経常利益の改善により、前回予想を上回りました。

なお、特別損失の計上の内容につきましては、同日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

#### (個別業績の差異)

個別業績の売上高につきましては、連結業績の差異と同様の理由に加え、航空宇宙関連事業の連結子会社であるSPP Canada Aircraft, Inc.（カナダ・オンタリオ州）から当社への事業移管を一部取り止めたことに伴い、前回予想を下回りました。

営業利益および経常利益は、販売減少等に伴い前回予想を下回りました。また、当期純利益につきましては、販売減少等に加え、特別損失の計上により前回予想を下回りました。

個別業績における特別損失の計上の内容につきましても、同日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上